

# “みんなが分かる授業づくり”で すべての子どもたちが共に学ぶ学級づくりを

～「小・中学校等を対象とした特別支援教育に関する研修パッケージ」ガイド～

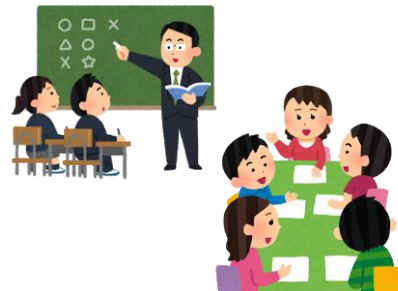
小・中学校等の通常の学級には…



でも…



そこで!



クラスに、学習上や生活上の  
困難を抱えている児童生徒  
が在籍している。

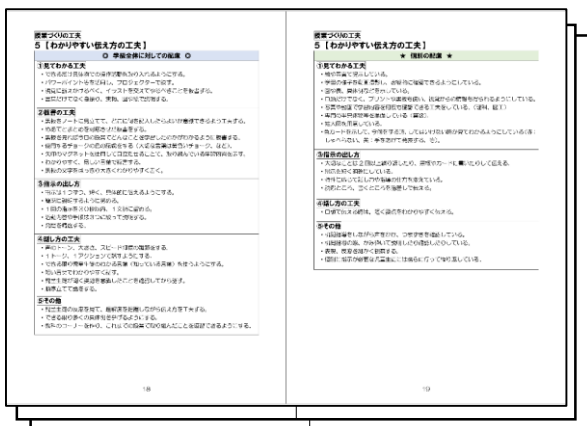
研修の時間を確保  
できない!

少ない負担でできる  
研修パッケージを活用  
してみませんか?

## 「小・中学校等を対象とした特別支援教育 に関する研修パッケージ」について

この研修パッケージは、小・中学校等で行われている指導の工夫を整理した“みんなが分かる授業づくりアイデアシート”と、それを活用するための“指導案に添付する記入枠”、15分程度で行う“研究協議の進め方”などの資料で構成されています。

### みんなが分かる授業づくり アイデアシート



- 教室環境の工夫 3項目
- 授業づくりの工夫 6項目

- 学級全体に対しての配慮
- 個別の配慮

### 指導案に添付する記入枠

アイデアシートを参考  
にしながら、指導  
の工夫を記入した枠  
を指導案に添付して  
授業を実施します。



### 研究協議の進め方

3～4人のグループ  
で、15分間程度の  
付せん紙とA3用紙  
を使った協議を行います。



このほかに

- 通常の学級での特別支援教育に関する資料
- 集まって研究協議を行うことが難しい場合の“振り返りの進め方”

も入っています。

この研修パッケージは、こちらでダウンロードできます!

● 埼玉県「特別支援教育の推進関係資料」のページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2212/tokubetu-suryou/suisin-1.html>

# Step 1

## 「みんなが分かる授業づくりアイデアシート」 を使って指導の工夫を考える

子どもが抱えている困難さの背景要因を考える

指導の工夫を考える前に、  
子どもが抱えている困難  
さの背景にある要因に  
ついて、「個人の要因」  
と「環境の要因」の両面  
から考えてみましょう。



指導の工夫を考える

「みんなが分かる授業づくりアイデアシート」を参考にしながら、

- ・対象とする子どもの学びの様子（困難さ等）
- ・指導の工夫
- ・指導の工夫をすることで「こうなってほしい」という指導の意図
- ・該当する“みんなが分かる授業づくりアイデアシート”の項目番号

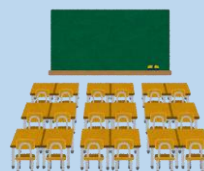
を、“指導案に添付する記入枠”に記入して整理します。

### ★一人一人の教育的ニーズに応じた授業の工夫

こんな児童生徒に 【対象児童生徒】	指導の工夫	こうなってほしい (指導の意図)	アイデア シート
話の最中に割り込んで発言 してしまう児童 【Aさん】	クラス全体でハンドサインを決 めておき、サインを下ろしたら 質問や意見を必ず聞くという 約束をする。	落ち着いて発言できるよう になる。	8-①
全員(グループ学習時)	全員が黒板を向くように座席 の配列を工夫する。	黒板を注視できるようにな る。	3-①
口頭説明を聞き逃してしまう 生徒【Bさん、Cさん】	プリントや黒板を使い、視覚情 報も得られるようにする。	説明が理解できるようにな る。	5-①

「指導の意図」を明確にしてから、その意図を実現  
するための「指導の工夫」を検討してみましょう。

ポイント！  
対象の児童生徒の席を記した座席表を  
添付すると、参観しやすくなります。



指導の工夫の  
例はこちら

## Step 2

# 少人数のグループで協議を行い 指導の工夫のアイデアを共有する

### 授業前にテーマを決めて参観する

授業の実施前に、授業者を中心に協議のテーマを決めておくと、話し合いがスムーズに進みます。

<テーマの例>

- Aさん：授業に集中できるようにするためには？
- Bさん：自信をもって発表できるようにするための工夫

### 研究協議を行う

2色の付せん紙とA3用紙を用意します。

9-①

みんなでサインを決めておくことで、発言が落ち着いていた

5-③

実物を提示しながら説明する

良かった点

改善に向けたアイデア

所要時間は  
15分！



良かった点

アイデア

アイデア

良かった点

5-①

4-③

Aさん  
話の途中で割り込んで発言することが多い

8-①

アイデア

良かった点

良かった点

個人作業で、テーマに対して授業の良かったところ、改善に向けたアイデアを書き出します。

A3用紙に付せん紙を貼りながらアイデアを共有します。最後にグループごとによかった実践・アイデアを選びます。



### 良かったアイデアの共有

各グループで出された良かった実践・アイデアを「みんなが分かる授業づくりアイデアシート」に追記することで、学校としての“指導の引き出し”を充実させていきましょう。



ポイント！

- 子どもが直面している困難だけでなく、その子が得意な授業や、活躍している場面なども参考にしてみましょう。
- 「改善に向けたアイデア」は、そのアイデアが正しいかどうか、できるかどうかといったことは気にせず、たくさん挙げていきましょう。



# みんなが分かる授業づくりアイデアシート ～エッセンシャル版～

“みんなが分かる授業づくりアイデアシート”に記載されている指導の工夫を  
少しだけ紹介します！

## 教室環境の工夫

### 1 【持ち物を整理しやすくするための工夫】

- 小項目 ①収納場所をわかりやすくするための工夫  
②置き場所を決める ③整理整頓の時間を設ける  
④見本の提示 ⑤置き場所の確保 ⑥その他

#### 学級全体に対する配慮

##### ④見本の提示

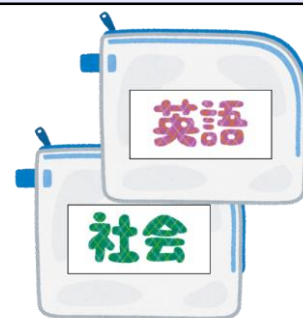
ロッカーや用具等の整理整頓の仕方を図や写真で示す。



#### 個別の配慮

##### ②置き場所を決める

教科ごとにジッパー付きのファイルや袋を用意し、管理しやすいようにする。



### 2 【予定や約束を理解しやすくするための工夫】

- 小項目 ①提示場所の工夫 ②提示方法の工夫 ③提示のタイミング

#### 学級全体に対する配慮

##### ①提示場所の工夫

毎日、1日の予定をホワイトボードに示す。  
(授業、行事など)



#### 個別の配慮

##### ②提示方法の工夫

机の上に「～します」等と書いたテープを貼って、できるようになったらはがす。

教室に帰ってきたら、手を洗います



### 3 【集中できる教室環境の工夫】

- 小項目 ①座席等の工夫 ②視覚刺激への配慮 ③聴覚刺激への配慮  
④整理整頓 ⑤その他

#### 学級全体に対する配慮

##### ②視覚刺激への配慮

掲示をカーテンで隠して気が散らないようにする。



#### 個別の配慮

##### ①座席等の工夫

例：集中のために刺激を減らしつつ、手本になる児童生徒を見せたい場合、2列目に配置する。



# 授業づくりの工夫

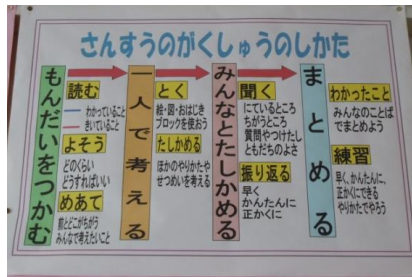
## 4 【授業の見通しを持ちやすくするための工夫】

- 小項目 ①目標の提示 ②授業の流れを統一 ③授業の流れの提示  
④その他

### 学級全体に対する配慮

#### ②授業の流れを統一

毎時間の授業の流れを統一する。



### 個別の配慮

#### ③授業の流れの提示

手元に置いて確認できるように、授業の流れを記した紙を個別に渡す。

●月口日 数学

1. 今日 の めあて
2. 「▲▲」の説明
3. 演習
4. まとめ
5. 振り返り

## 5 【わかりやすい伝え方の工夫】

- 小項目 ①見てわかる工夫 ②板書の工夫 ③指示の出し方  
④話し方の工夫 ⑤その他

### 学級全体に対する配慮

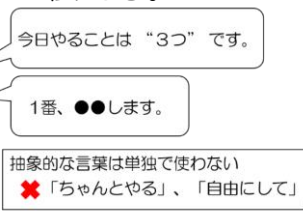
#### ①見てわかる工夫

やるべきことを板書する。



#### ③指示の出し方

指示は1つずつ、短く、具体的に伝える。



### 個別の配慮

#### ①見てわかる工夫

学習の様子を動画撮影し、客観的に確認できるようにする。



## 6 【理解を深めるための工夫】

- 小項目 ①流れを統一 ②話し合い活動 ③習熟度別 ④座席の配置  
⑤その他

### 学級全体に対する配慮

#### ②話し合い活動

ペアやグループで教え合う、伝え合う活動をなるべく多く取り入れ、多様な考えを多方面から取り入れるようにする。



### 個別の配慮

#### ③習熟度別

学習内容や実態に応じて個別の指導やグループ指導など、個に応じて形態を変える。



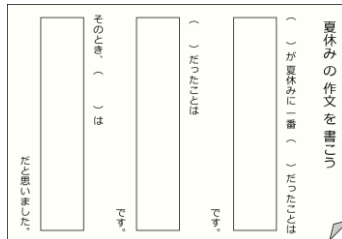
## 7 【考えをまとめやすくするための工夫】

- 小項目 ①ワークシートの活用 ②板書の工夫 ③話し合い活動  
④キーワードやポイントの提示 ⑤考えを伝える機会の確保  
⑥例の提示 ⑦その他

### 学級全体に対する配慮

#### ②ワークシートの活用

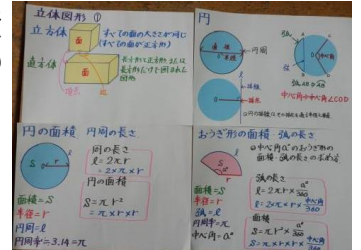
ワークシートを活用し、思考したものを表現できるようにする。



### 個別の配慮

#### ④キーワードやポイントの提示

悩んでいる児童生徒には助言、ヒントやキーワードを与えられるようにする。



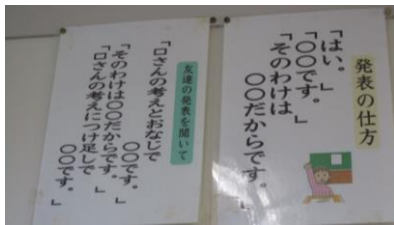
## 8 【考えを伝えやすくするための工夫】

- 小項目 ①型・ルールの提示 ②雰囲気醸成 ③考えを伝える機会の確保  
④自信が持てる工夫 ⑤その他

### 学級全体に対する配慮

#### ①型・ルールの提示

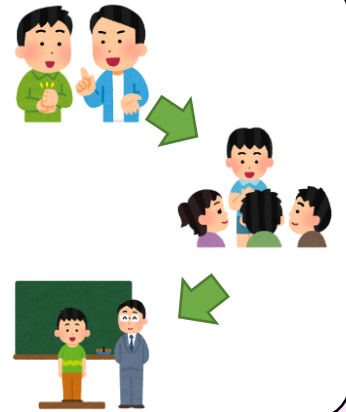
発表に使う、簡単な型を示す。



### 個別の配慮

#### ④自信が持てる工夫

ペアや少人数での話し合いから全体での話し合いに入れるように、個に応じて段階的に環境を設定する。



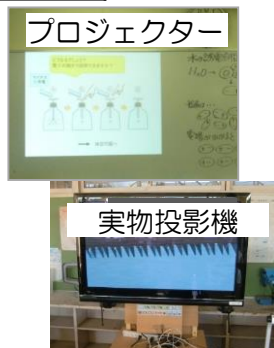
## 9 【実態に応じた教材・教具の工夫】

- 小項目 ①ワークシートの工夫 ②絵やイラストの活用 ③見やすさへの配慮  
④具体物、半具体物の提示 ⑤ICTの活用 ⑥その他

### 学級全体に対する配慮

#### ②ICTの活用

ICT機器を利用して教材や授業内容への興味関心を引き出す工夫をする。



### 個別の配慮

#### ④ワークシートの工夫

字がマスからはみ出す場合には、マス目を大きくしたり、行の幅を広くした用紙を選べるようにする。



# 子どもの様子から指導の工夫を考える

## 直面している困難さから

学習で直面する困難さと、予想される背景要因から指導の工夫を検討する例を示しました。実際には背景要因を特定しづらいことも多くあると思いますが、指導の仮説を立てて指導の工夫を試しながら、より適切な指導の工夫を検討していきましょう。

授業に集中して参加することが難しい



考えられる困難さの背景	考えられる手立ての例 (該当するアイデアシートの項目)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視界の中に気になるものがたくさんある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教室前方の掲示物を最小限にする (3 集中できる教室環境の工夫)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見通しが持てていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の流れを掲示し、適宜確認する (4 授業の見通しを持ちやすくするための工夫)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やるべきことを把握していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指示は1つずつ、短く、具体的に伝えるようにする (5 分かりやすい伝え方の工夫)</li> </ul>

みんなの前で発表することが難しい



考えられる困難さの背景	考えられる手立ての例 (該当するアイデアシートの項目)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えをまとめることが難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートを活用して、思考したものを表現できるようにする (7 考えをまとめやすくするための工夫)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どう発表すればよいかわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表に使う、簡単な型を示す (8 考えを伝えやすくするための工夫)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 失敗しづらい雰囲気</li> <li>・ 自信がない、不安である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「間違ってもいい」雰囲気を作る (8 考えを伝えやすくするための工夫)</li> </ul>

## 得意な学び方から

子どもの抱えている困難さだけでなく、子どもが得意とする学び方から指導を工夫することも効果的です。ここでは、アイデアシートの【5 分かりやすい伝え方の工夫】の例をいくつか紹介します。

得意な学び方	考えられる手立ての例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見て学習することが得意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し言葉の他に、図や絵など視覚的な手がかりを用いる</li> <li>・ 指示を箇条書きで板書する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞いて学習することが得意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大事なことは、声に出して確認する</li> <li>・ 不要な言葉は避けて、短く端的な指示をする</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体像を把握しながら学習することが得意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の全体像や最終目標が分かる資料をはじめに提示する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 順序立てて考えることが得意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 順序や前後のつながりが分かるように、一つずつ順を追って説明する</li> </ul>

## Q & A

Q “みんなが分かる授業づくりアイデアシート” に書いてある工夫は全て実施した方がよいのですか？

このアイデアシートは教師の取組についてやるべきことを確認するチェックリストや、シートに書いてある内容をそのまま行えば良いというマニュアルのようなものではありません。あくまでも、みんなが分かる授業づくりをするためのアイデアの“参考例”としてとらえ、子どもの学び方や学習環境に合わせてアレンジしながらご活用ください。

Q 学校で取り組んでいる研究テーマと、研修パッケージの両方に取り組むことは難しいと思うのですが、どうしたらよいですか？

学校で取り組んでいる研究テーマと本研修パッケージを実施する上での協議テーマを別のものとして捉えず、学校の研究テーマに取り組むにあたって“学びにくさ”のある子どもに対する指導の工夫について検討してみてもいいでしょうか。

例：学校の研究テーマ「主体的・対話的で深い学びの充実」

「話し合い活動」に焦点を当てた取り組みをする際に、周りの子どもと比べて“話し合いに積極的に参加しづらい子ども”や、“暗黙のルールを無視した話し方をしてしまう子ども”に対しての指導の工夫について話し合う。

また、学校によっては十分な研修時間を確保しづらかったり、もっと丁寧に個別の配慮について話し合いたいという意見があったりするかもしれません。実情や目的に合わせて適宜研修への取り組み方をアレンジしてお使いください。

Q 「みんなが分かる授業づくりアイデアシート」や協議をもとに色々と工夫を試してみましたが、うまくいきません。どうしたらよいですか？

学習上や生活上に困難さを抱えている子供への指導・支援を検討する際に、障害についてなどの専門的な知識が必要である場合も考えられます。特別支援学校のセンター的機能を活用し、相談してみましょう。

また、困難さの背景要因を知るために、医学・心理的な検査等が有効な場合があります。医療等の専門機関との連携も検討してみましょう。

### <さらに詳しく知るためには>

●埼玉県 「特別支援教育の推進関係資料」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2212/tokubetu-suryou/suisin-1.html>

●埼玉県立総合教育センター 「特別支援教育担当のページ」

[http://www1.center.spec.ed.jp/?page\\_id=209](http://www1.center.spec.ed.jp/?page_id=209)

●独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「先生の困った！を解決するために」

[http://www.nise.go.jp/nc/guide\\_01](http://www.nise.go.jp/nc/guide_01)

【発行】 埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課  
TEL: 048-830-6880 FAX: 048-830-4960  
<令和3年3月発行>

資料はこちら



コバトン さいたまっつ  
埼玉県のマスコット